

☆ 3年生の面接練習

今、3年生は入試に向けて「面接練習」を行っています。公立高校も私立高校も、テストのほかに面接があります。(試験によっては無い場合もあります)

そのため、校長や担任の先生方や学年主任の先生など、たくさんの先生方が関わりながら、面接練習を行っています。

志望動機や部活動のこと、中学校での生活の様子や将来の夢・希望など、様々な内容について本番さながらに練習を行います。いつもは明るく元気いっぱいな生徒も、この時ばかりは緊張して表情も硬く、ドキドキしながら答えています。しかし、どの生徒も、どんな質問が出て大丈夫なように、答えをしっかりと考え、メモをして、一生懸命に覚えてきています。

また、服装や態度、お辞儀の仕方や返事の仕方、部屋に入る時や出る時のあいさつの仕方、部屋の外でイスに座って待っている時の態度など、きちんと意識しています。先生方の指導をしっかりと聞いて、真剣に取り組んでいる様子が分かります。

1, 2年生の皆さん。「まだまだ先のことだ」なんて思っているはいけません。普段の生活態度やあいさつなどの礼儀は、急にきちんとやろうと思ってもできないものです。緊張している時には素(す)の自分が出てしまうものです。

普段のあいさつはどうか? しっかり声を出して、元気よく出来ていますか? どの先生にも、外から来たお客様に対しても、恥ずかしがらずに声を出せていますか? 「おはようございます」「こんにちは」だけでなく、職員室に入る時、授業で指名された時、部活動で指導されている時のあいさつや返事はどうか? 服装などの身だしなみはきちんと整っていますか? 時間通りに行動できていますか? 授業態度はどうか? 「み」「そ」「あ」「じ」「か」を意識していますか?

「大丈夫、やるときはやる!」と言って、普段はいい加減な人はいませんか?

大切な時だけ、きちんとしようとしても、簡単には出来ません。入試の当日は、とても緊張します。なぜなら、本番の面接は一度も会ったことのない先生方から、鋭い質問を投げかけられるのですから。

「ちょっとがんばりが足りないな」「普段の学校生活がいい加減になってきたな」という人は、普段から意識して、学校生活を送っていきましょう。



☆ 南中生の活躍

【第5回群馬学校吹奏楽新人戦】

<中学校部門> 優良賞

【佐波郡読書感想画コンクール】

<自由読書の部>

入選 中嶋 悟也 「夢へと歩んできた道」

(佐波郡代表)

<指定読書の部>

佳作 パルラデ・メイ 「ジャック守ってて」



☆ペットボトルキャップ回収中止のお知らせ

本校では、ペットボトルキャップを収集し、そのリサイクルで得た利益を世界の子どものワクチン代として寄付する「エコキャップ運動」を行ってまいりました。しかし、回収を依頼していた業者から、運営の都合上、活動を中止するという通知が参りました。

たいへん残念ではありますが、キャップの受け入れ窓口が無くなってしまいましたので、本校のエコキャップ運動を中止とさせていただきます。長い間、回収にご協力いただき、誠にありがとうございました。



☆美しい人とは



生徒の皆さんは知らないと思いますし、お家の方も知らない方がいらっしゃるかもしれませんが、イギリスの女優で「オードリー・ヘップバーン」というとてもきれいな方がいました。彼女が亡くなる年の最後のクリスマス・イヴに、2人の息子に読み聞かせたという「サム・レヴィンソン」の詩を紹介します。

時を越えた美しさの秘密

魅力的な唇であるためには、美しい言葉を使いなさい。
愛らしい瞳であるためには、他人の美点を探しなさい。
スリムな体であるためには、飢えた人々と食べ物を分かち合いなさい。
豊かな髪であるためには、一日に一度子どもの指で梳（す）いてもらいなさい。
美しい身のこなしのためには、決してひとりで歩むことがないと知ることです。

物は壊れれば復元できませんが、人は転べば立ち上がり、
失敗すればやり直し、挫折（ざせつ）すれば再起し、間違えれば矯正（きょうせい）し、
何度でも再出発することができます。
誰も決して見捨ててはいけません。

人生に迷い、助けて欲しいとき、いつもあなたの手のちょっと先に
助けてくれる手がさしのべられていることを、忘れないで下さい。
年をとると、人は自分にふたつの手があることに気づきます。
ひとつの手は、自分自身を助けるため、
もうひとつの手は他者を助けるために。

女性の美しさは 身にまとう服にあるのではなく、
その容姿でもなく、髪を梳くしぐさにあるのでもありません。

女性の美しさは、その人の瞳の奥にあるはずで、
そこは心の入り口であり、愛情のやどる場所でもあるからです。

女性の美しさは、顔のほくろなどに影響されるものではなく、
その本当の美しさは その人の精神に反映されるものなのです。
それは心のこもった思いやりの気持ちであり、時として見せる情熱であり、
その美しさは、年を追うごとに磨かれていくものなのです。

女性に限らず、誰にでも当てはまる内容だと思えます。
本当の「美しい人」とは「心が美しい人」であると思っています。